

ERROR: Invalid Key in Stanza [tcpout:default-autolb-group] in
/opt/splunkforwarder/etc/system/local/outputs.conf,
line 27: autoLB (値 : true) .

適用性

Splunkエンタープライズ

説明

outputs.confの「autoLB」ユニバーサルフォワーダ設定は構成できなくなりました

適用可能なコンポーネント : Splunk EnterpriseおよびSplunk Universal Forwarder

適用可能なOS: すべて

導入バージョン : 6.6

ユニバーサルフォワーダがインデクサにデータを送信する方法を制御するautoLB設定は、有効なtrue設定だけでしたが、この値にロックされています。フォワーダがデータを送信できる唯一の方法は自動ロードバランシングであるため、この設定を設定可能にする理由はありません。これで、ユニバーサルフォワーダは、設定をtrue以外に設定しようとする試みを無視するようになりました。

スタートアップチェック中に、autoLBの不適切な設定に関するエラーに気付く場合があります。このエラーは無視しても問題ありません。

調査

ユニバーサルフォワーダを再起動するたびに、このエラーが表示されます。ドキュメントを確認すると、autoLB属性は、有効な設定がtrueに設定されているためそれ以上は設定できないことがわかります。そのため、バージョン6.6以降では、この属性はその値にロックされています。

解決方法

メッセージは無視しても問題ありませんが、表示されないようにするには、メッセージに表示されるパスから属性とその値を削除し、Splunkを再起動する必要があります。

関連リンク

Splunkドキュメント

outputs.confの「autoLB」ユニバーサルフォワーダ設定は、
https://docs.splunk.com/Documentation/Splunk/latest/Installation/AboutupgradingREADTHISFIRST#The_
は設定できなくなりました。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。